



# 令和3年度 苫小牧市立明野中学校グランドデザイン ～教育活動の質の向上と学習効果の最大化～

## 【学校教育目標】

**知** 学ぶ意欲を育む生徒 **徳** 豊かな感性を育む生徒 **体** 逞しい心身を育む生徒

## 【明野中学校区が目指す15歳の姿】

- ☆「すべきこと・なすべきこと」から逃げずに、ひたむきに努力する生徒☆
- ☆思いやりの心をベースに「正しいこと・善いこと」を判断し行動する生徒☆

## 何ができるようになるか【学校教育の基本】

- ①自らの人生を切り拓くための「**学力・体力の定着と向上**」  
自 自 試 行 錯 誤
- ②自立と共生の基盤となる「**自主性・主体性の育成**」

## 生徒の発達をどのように支援するか

- ・生徒と向き合う時間を確保し、生徒理解に努める
- ・職員間で情報共有を行い、生徒1人1人の教育的ニーズを把握し、協働して支援に当たる（個別に支援計画、指導計画に基づいた支援体制の構築、通級指導の充実）

## 何を学ぶか【教育課程の編成】

- コミュニケーション力（言語能力、情報活用能力）
- 問題発見・解決能力
- 協働する力

キャリア・パスポートを活用した検証改善  
⇒教育活動の質の向上、⇒学習の効果の最大化

## どのように学ぶか【教育課程の実施】

- 主体的で対話的な深い学びの実現【教務部所管】
- タブレットの積極的・効果的な活用【教務部所管】
- キャリア教育の推進
  - ・人間関係形成・社会形成能力【学年部所管】
  - ・自己理解・自己管理能力【指導部所管】
  - ・課題対応能力【生徒会部所管】
  - ・キャリアプランニング能力【学年部所管】

## 【教職員と生徒の行動指針】

**「向き合う」「支え合う」「認め合う」**

## 【生徒の実態】

- 素直で、基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。規範意識も高い。
- 生徒会活動が盛んで、自治的な活動が活発である。
- ▲根拠を明確にしたり、話の組み立て方を工夫したりして、自分の考えが相手に伝わるようにする表現力に課題がある。また、家庭学習の時間が全国と比べて短い。
- ▲困難な状況を我慢し、打ち克ち乗り越えていく力が弱い。周囲の目に過敏になり、自分らしさ（個性や特性）を発揮しながら人間関係を築いていくことが苦手である。

## 実施するために何が必要か【指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働】

- 校内研修の内容の充実（「主体的・対話的で深い学び」の実現）
- 明野中学校区学校教育力向上エリア会議による小中連携・一貫教育の推進（中1ギャップ未然防止事業の推進、ALTの効果的な活用）
- 関係機関との充実した連携と協働による生徒及び家庭の支援（不登校の未然防止や早期解決等）
- 働き方改革の取組の着実な推進（「やめる・減らす・変える」に基づく業務改善、部活動に係る活動方針の完全実施）

## 安全・安心を守る

- 危機管理マニュアルの見直しと実践的な活用
- 学校いじめ防止基本方針に基づく対応の推進
- 服務規律の遵守（体罰の禁止、個人情報保護・管理の徹底、交通違反・事故の防止）

## 開かれた学校づくり

- 教育活動の積極的な情報発信
- 地域活動局を中心とした地域貢献
- CSを見据えた学校評議員制度の活用と学校関係者評価の実施
- 地域の人材や教育環境の積極的な活用